

経営比較分析表

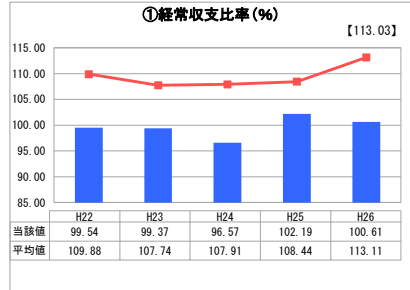
三重県 桑名市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.41	99.98	1,814

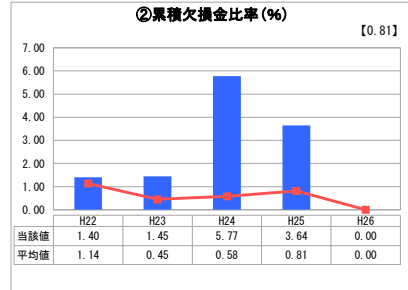
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
142,808	136.68	1,044.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
142,518	136.70	1,042.56

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

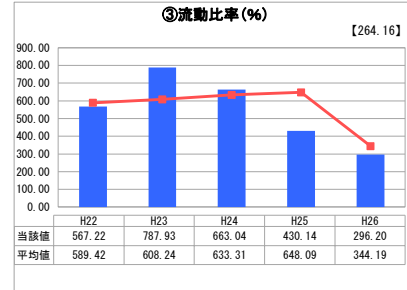
1. 経営の健全性・効率性



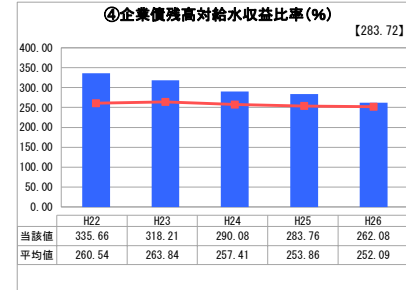
「経常損益」



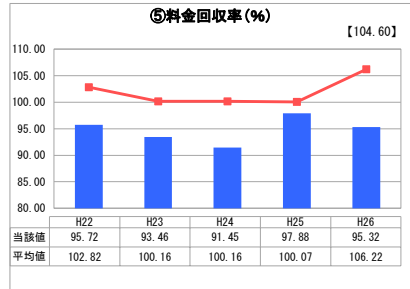
「累積欠損」



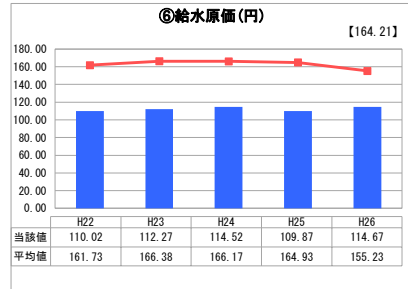
「支払能力」



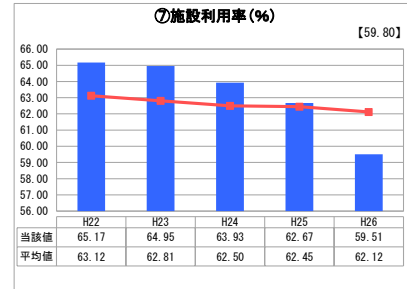
「債務残高」



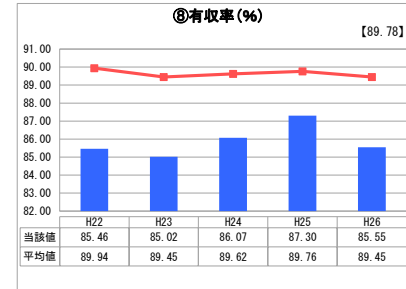
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

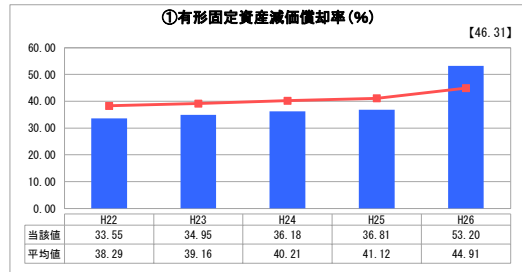


「施設の効率性」

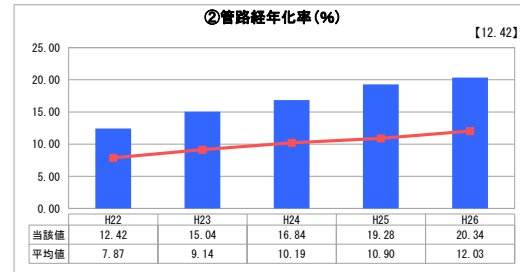


「供給した配水量の効率性」

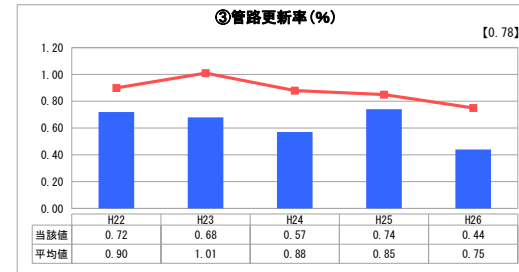
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支については、3年連続で赤字であったが、その後2年連続で黒字に転じた。しかし、類似団体平均値や全国平均値と比較しても大きく下回り、伸び悩みが続いている。

主な要因としては、需要水量の減少による給水収益の低下であり、給水人口としては増加傾向にあるが、有収水量に比例していない。

また、施設の稼働状況が給水収益に結びついておらず、給水に係る費用を給水収益以外の収入で賄っているため、施設の稼働状況を含め、見直しを行う必要がある。

本市の水道料金は、全国的にも低料金の事業体に属しているため、料金改定等を含めた適切な料金収入の確保に努め、さらなる経営改善の取組みが必要であると考えている。

2. 老朽化の状況について

類似団体平均値等と比較して、管路の老朽化が進んでおり、更新が追いついていない。突発的な修繕等を随時行っているが、根本的な解決には至っていないのが現状である。

耐用年数を過ぎた経年管路は、公道漏水等の増加を引き起こすため、更新等の対策を練る必要がある。しかし、更新には多額の費用がかかるため、収入に見合った効率の良い更新計画を立て、計画的に事業を進めていくことが重要であると考えている。

全体総括

本市は平成26年3月に水道事業を適正に運営していくため、維持管理や施設の老朽化対策・災害対策等の取り組みを盛り込んだ、「桑名市新水道ビジョン」を策定した。また、現在経営戦略についても策定を進めているところである。

近年、需要水量の減少により、料金収入が減少傾向にある中で、経営持続可能な水道事業の実践を行う上でも、料金改定等を含めた収入確保に努めていく考えである。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。